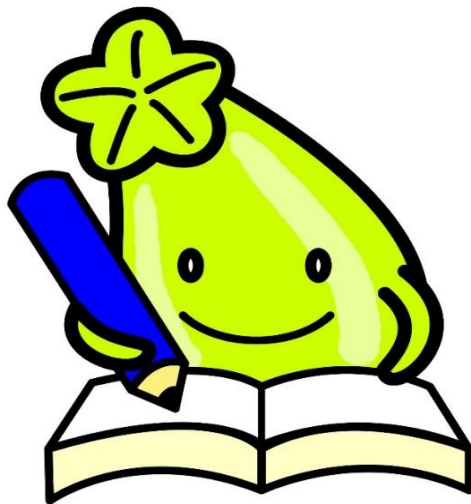


令和2年度 東成区民アンケート報告書



ご協力いただいた方
ありがとうございました！

令和2年7月実施
大阪市東成区役所

I アンケートの概要

1) 調査の目的

東成区の事業や取組みについて、区民の皆さんから広くご意見や評価をいただくことで、様々なニーズを把握し、今後の東成区政に反映していくための貴重な情報として活用することを目的として、アンケートを実施しました。

2) 調査のテーマ

令和2年度第1回区民アンケートのテーマは次のとおりです。

■防災 ■環境教育 ■健康づくり ■SDGs ■広報

3) 調査の実施状況

調査期間 : 令和2年7月13日～7月27日

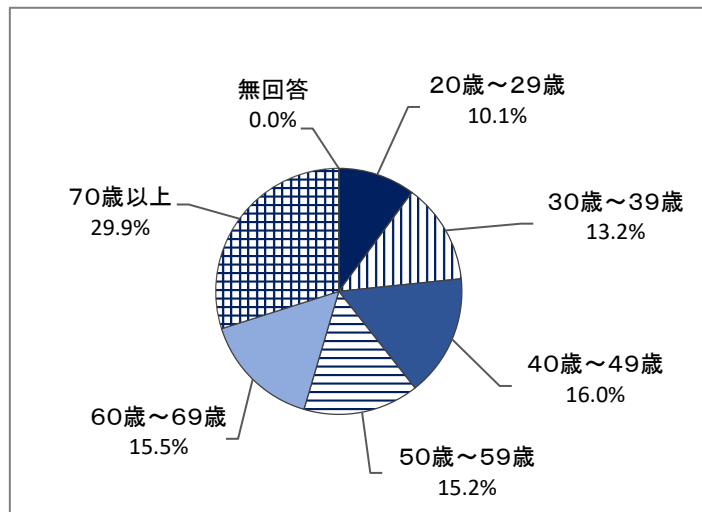
方 法 : 郵送とWEB

対 象 : 住民基本台帳から無作為抽出した区民1,300名

回答者数 : 612名(47.1%)

4) 回答者属性

	全体	612
年 齢 別	20～29歳	62
	30～39歳	81
	40～49歳	98
	50～59歳	93
	60～69歳	95
	70歳以上	183
	無回答	0



※アンケート結果については、小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合があります。

※問1から問5までは、回答者属性にかかる質問です。

Ⅱ アンケート結果

◆◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆◆

平成30年6月の大阪北部地震や同年9月の台風21号など、近年大きな被害をもたらす自然災害が多数発生しており、今まで以上に災害に対する備えが必要となっています。
そのため、市民の一人ひとりが「自分の命は自分で守る」という心構えを持つことが大変重要となっています。

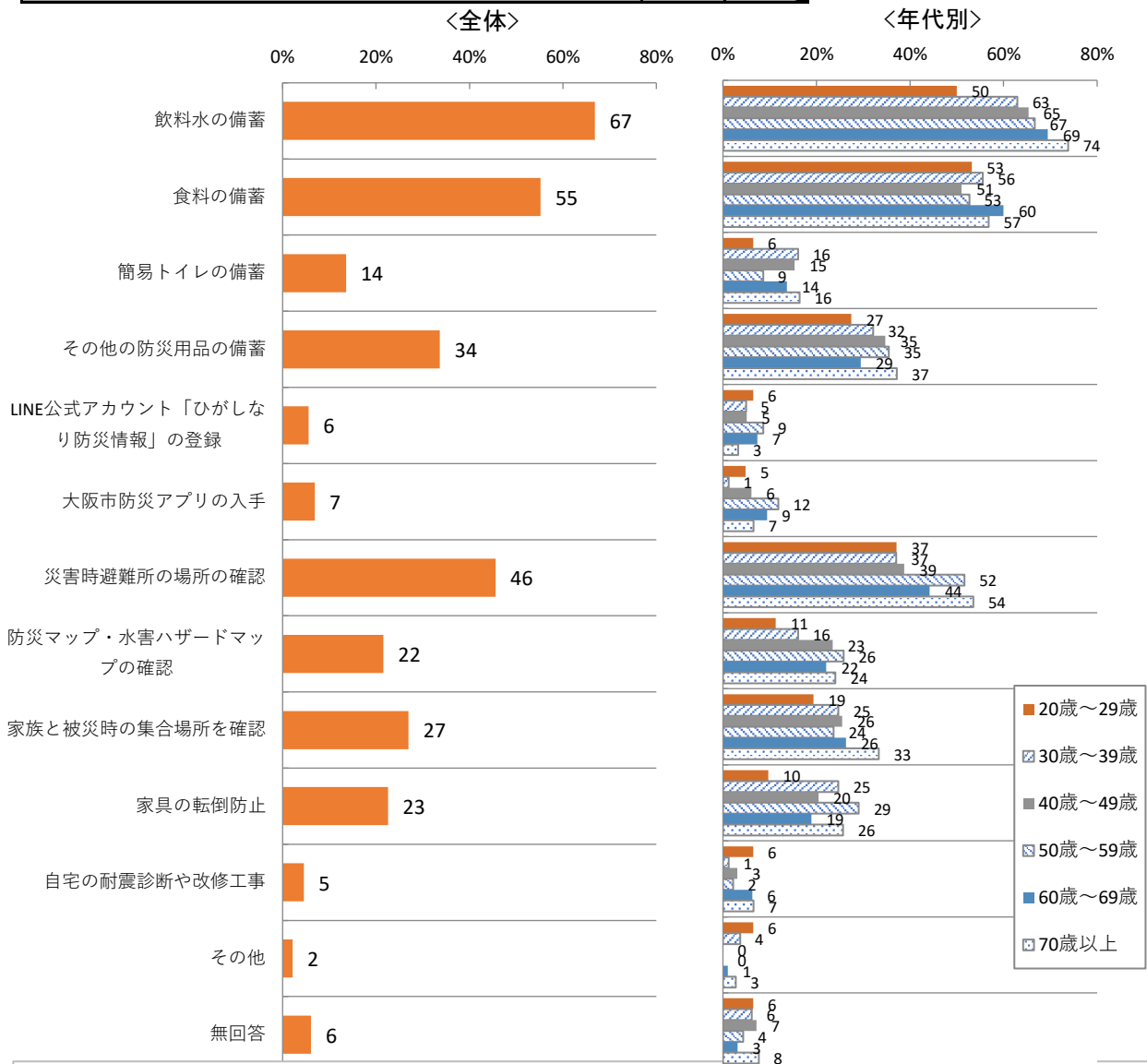
問6 災害による被害を最小限にするためには、日ごろからの備えが重要です。

あなたは自宅でのような防災対策をしていますか？【5つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 飲料水の備蓄	409	67
2 食料の備蓄	338	55
3 簡易トイレの備蓄	83	14
4 その他の防災用品の備蓄	206	34
5 LINE公式アカウント「ひがしなり防災情報」の登録	34	6
6 大阪市防災アプリの入手	42	7
7 災害時避難所の場所の確認	279	46
8 防災マップ・水害ハザードマップの確認	132	22
9 家族と被災時の集合場所を確認	165	27
10 家具の転倒防止	138	23
11 自宅の耐震診断や改修工事	28	5
12 その他	13	2
無回答	37	6
回答者数	612	

●その他の主な意見

- ・何もしていない
- ・脱出経路の確保



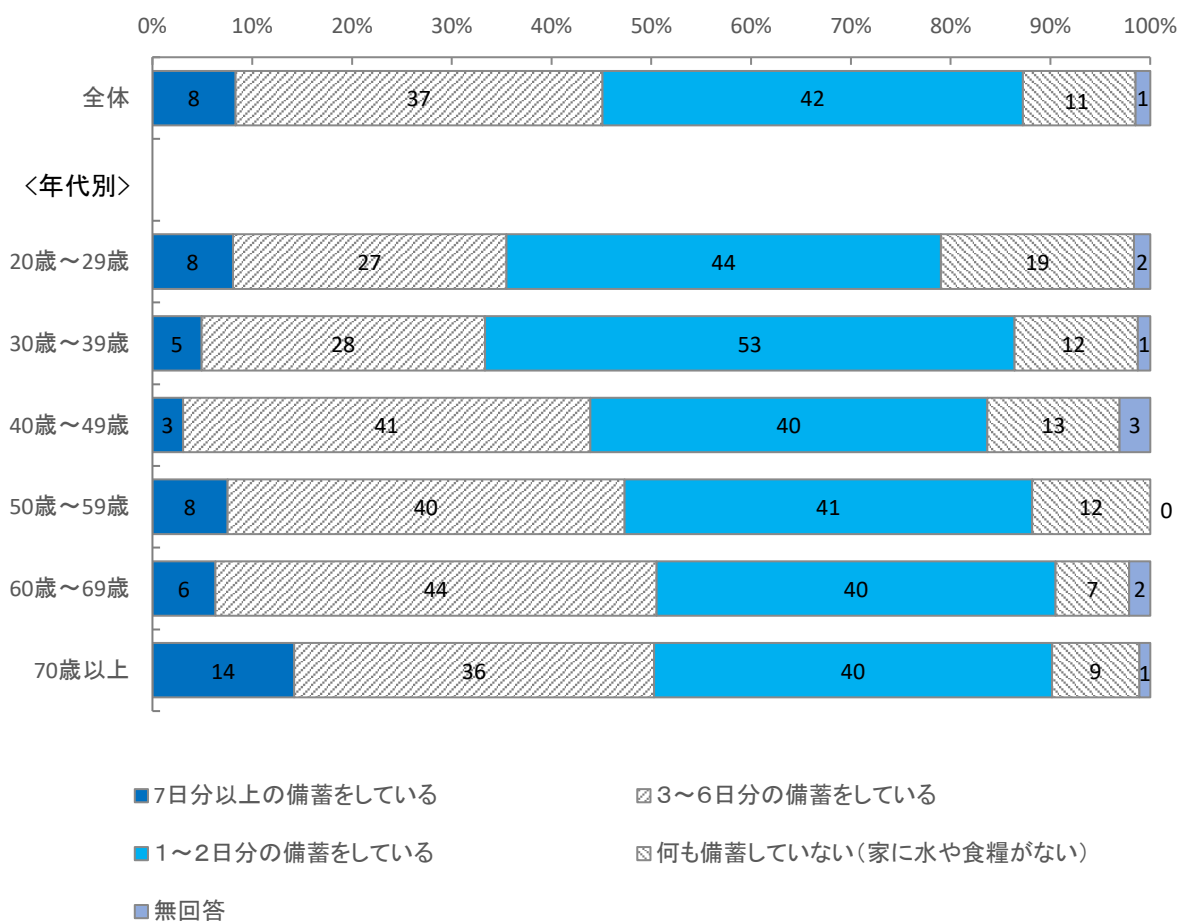
●各家庭の防災対策の充実を目指す

- ・飲料水・食料の備蓄は50%を超えているものの、その他の防災対策を行っている割合は低く、特に20歳代は「防災マップ・水害ハザードマップの確認」や「家具の転倒防止」など5つの項目で他の年代よりも低い結果となりました。
- ・家庭内の防災対策を講じている割合の向上を図るために、ひがしなりだよりや区ホームページ、ひがしなり防災情報LINEなどを通じ、家庭内の防災対策について発信していきます。

◆◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆◆

問7 大きな災害が発生した場合、救援物資が届くまでに数日間かかると言われていますが、あなたは自宅で何日分の飲料水や食糧を備蓄していますか？

項目	回答数	比率(%)
1 7日分以上の備蓄をしている	51	8
2 3～6日分の備蓄をしている	225	37
3 1～2日分の備蓄をしている	258	42
4 何も備蓄していない(家に水や食糧がない)	69	11
無回答	9	1
回答者数	612	



●1～6日分の備蓄をしている方は約8割を占める

- ・飲料水や食糧の備蓄について、3日分以上の備蓄をしている割合は60歳代以上で50%となりましたが、20歳代は35%、30歳代は33%と低い結果となりました。
- ・発災直後はスーパーやコンビニ等の物資はすぐなくなるため、ローリングストックにより無駄なく備蓄する手段などを広報紙や区ホームページ、ひがしなり防災情報LINEなどで周知し、より長い日数分の備蓄を促します。

◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆

高齢者や障がいのある人などの要配慮者が必要とする支援は、移動の介助や情報の提供、避難所での配慮などさまざまです。

特に、避難行動要支援者（自ら避難することが困難な人で、円滑かつ迅速な避難の確保を図るために特に支援が必要な人）に対する支援を日ごろから確認しておくことが重要です。

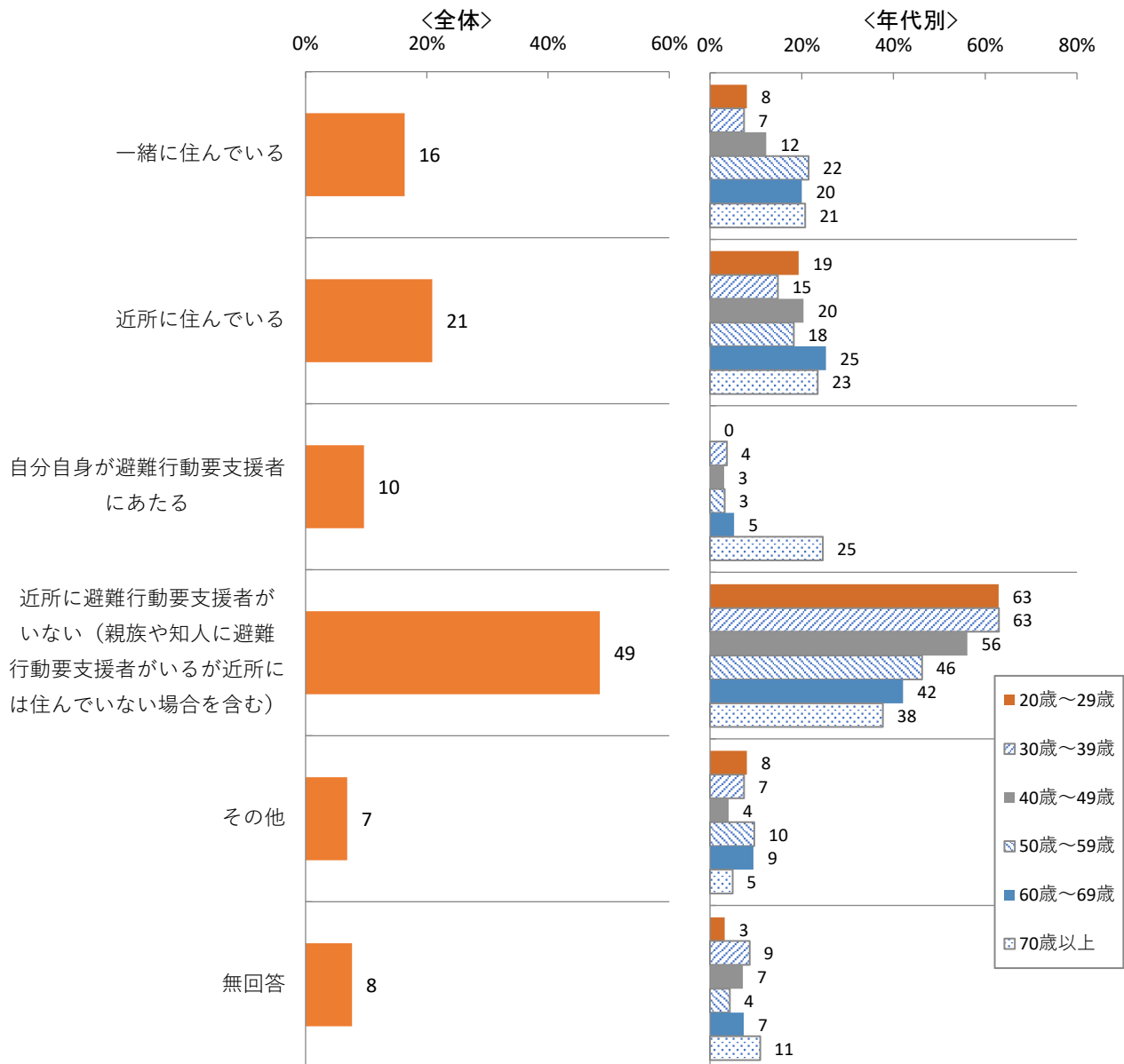
問8 あなたの周りに避難行動要支援者はいらっしゃいますか？

【3つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 一緒に住んでいる	100	16
2 近所に住んでいる	128	21
3 自分自身が避難行動要支援者にあたる	59	10
4 近所に避難行動要支援者がいない (親族や知人に避難行動要支援者がいるが 近所には住んでいない場合を含む)	297	49
5 その他	42	7
無回答	47	8
回答者数	612	

●その他の主な意見

- ・知らない、わからない
- ・施設にいる



●概ね半数の方の周りに避難行動要支援者がいる

・「一緒に住んでいる」が16%、「近所に住んでいる」が21%、「自分自身が避難行動要支援者にあたる」が10%、合わせて47%となりました。

・年代が高くなるにつれて、「近所に避難行動要支援者がいない」と回答した方の割合は低くなっています。

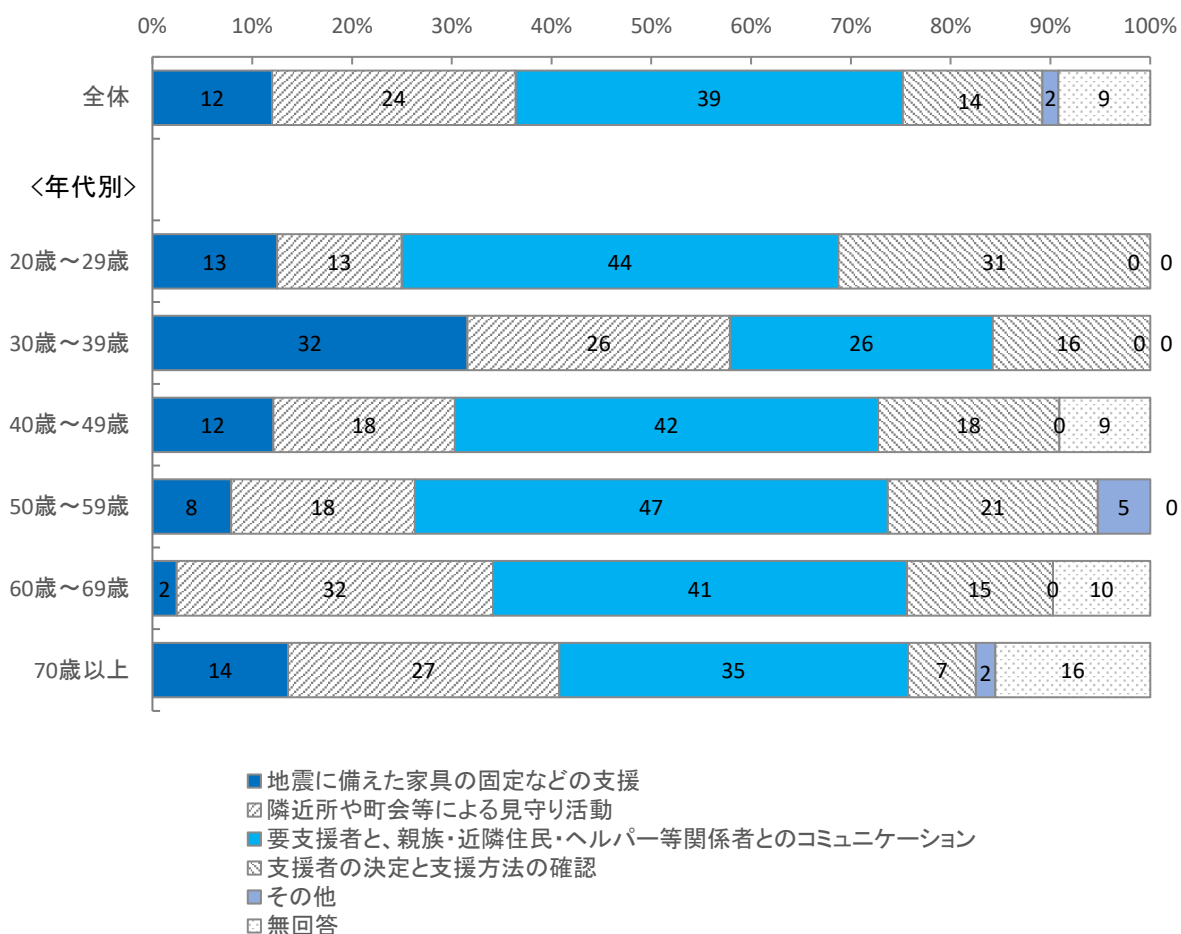
◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆

問9 問8で「1 一緒に住んでいる」、「2 近所に住んでいる」、「3 自分自身が避難行動要支援者にあたる」を回答した方にお聞きます。

避難行動要支援者に対する支援で、あなたが最も必要と思われることは何ですか？

項目	回答数	比率(%)
1 地震に備えた家具の固定などの支援	30	12
2 隣近所や町会等による見守り活動	61	24
3 要支援者と、親族・近隣住民・ヘルパー等関係者とのコミュニケーション	97	39
4 支援者の決定と支援方法の確認	35	14
5 その他	4	2
無回答	23	9
回答者数	250	

●その他の主な意見
・避難所にイス、ベッド等
配置してほしい



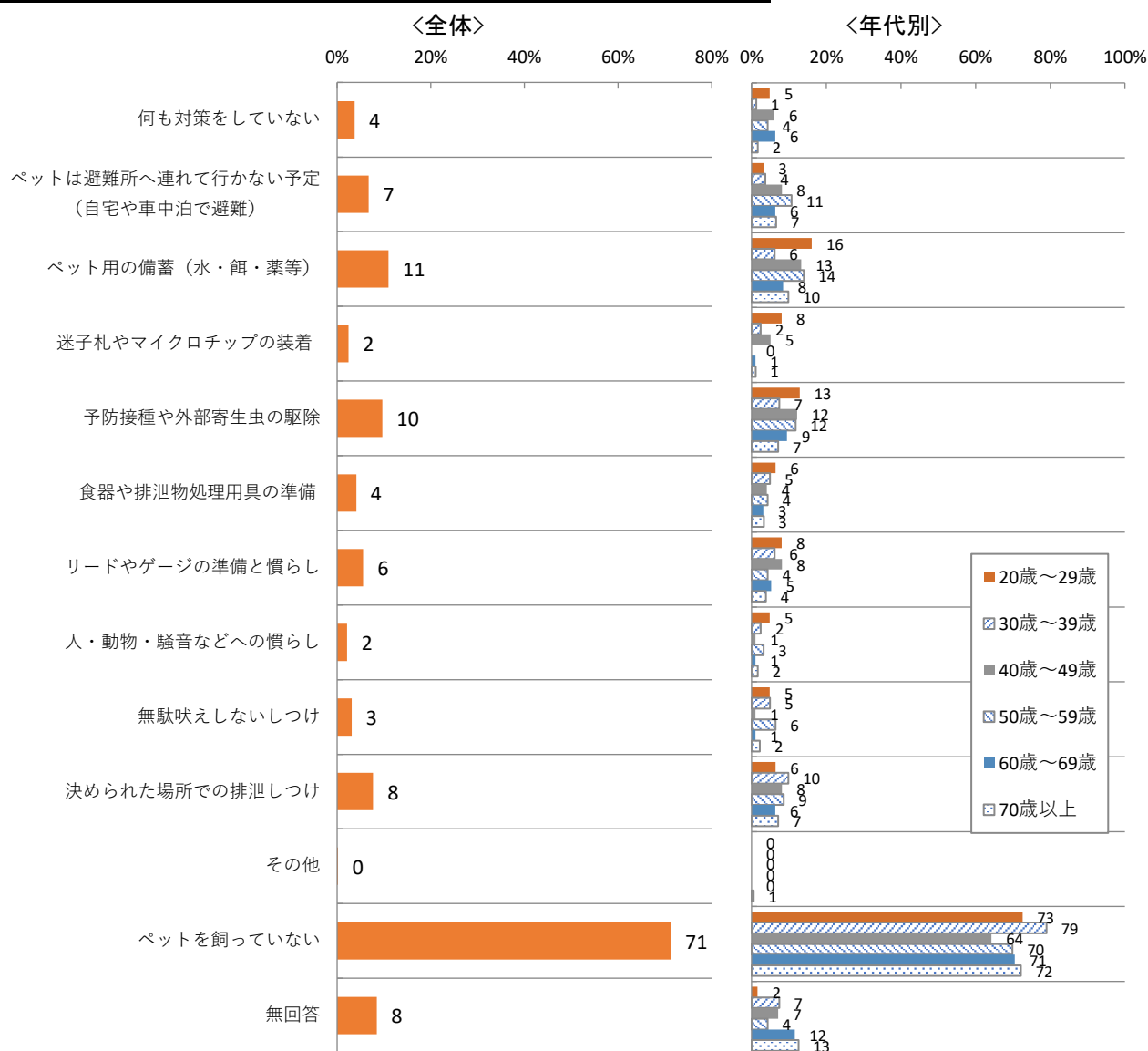
●概ね4割の方が避難行動要支援者への支援で「要支援者関係者とのコミュニケーション」が最も必要だと考えている
・避難行動要支援者に対する支援で、「要支援者と、親族・近隣住民・ヘルパー等関係者とのコミュニケーション」が必要だと回答した方が39%と最も多く、「隣近所や町会等による見守り活動」が24%と次いで高い結果となりました。また、30歳代は「地震に備えた家具の固定などの支援」が32%と最も高くなりました。
・日ごろからの近所づきあいが災害時に役立つことを、広報紙や区ホームページ、ひがしなり防災情報LINEなどの広報媒体を通じて啓発していきます。

◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆

ペットは大切な家族の一員と考えられる方がいらっしゃる一方、災害時避難所には、動物アレルギーがある方や、動物が苦手な方、鳴き声やにおいを不快に思う方など様々な方が避難されてきます。
そのため、ペットに関する平時からの防災対策が重要であると言われています。

問10 あなたは、自宅で飼っているペットのためにどのような防災対策を行っていますか？【5つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 何も対策をしていない	23	4
2 ペットは避難所へ連れて行かない予定(自宅や車中泊で避難)	41	7
3 ペット用の備蓄(水・餌・薬等)	67	11
4 迷子札やマイクロチップの装着	15	2
5 予防接種や外部寄生虫の駆除	59	10
6 食器や排泄物処理用具の準備	25	4
7 リードやゲージの準備と慣らし	34	6
8 人・動物・騒音などへの慣らし	13	2
9 無駄吠えしないしつけ	19	3
10 決められた場所での排泄しつけ	47	8
11 その他	1	0
12 ペットを飼っていない	436	71
無回答	52	8
回答者数	612	



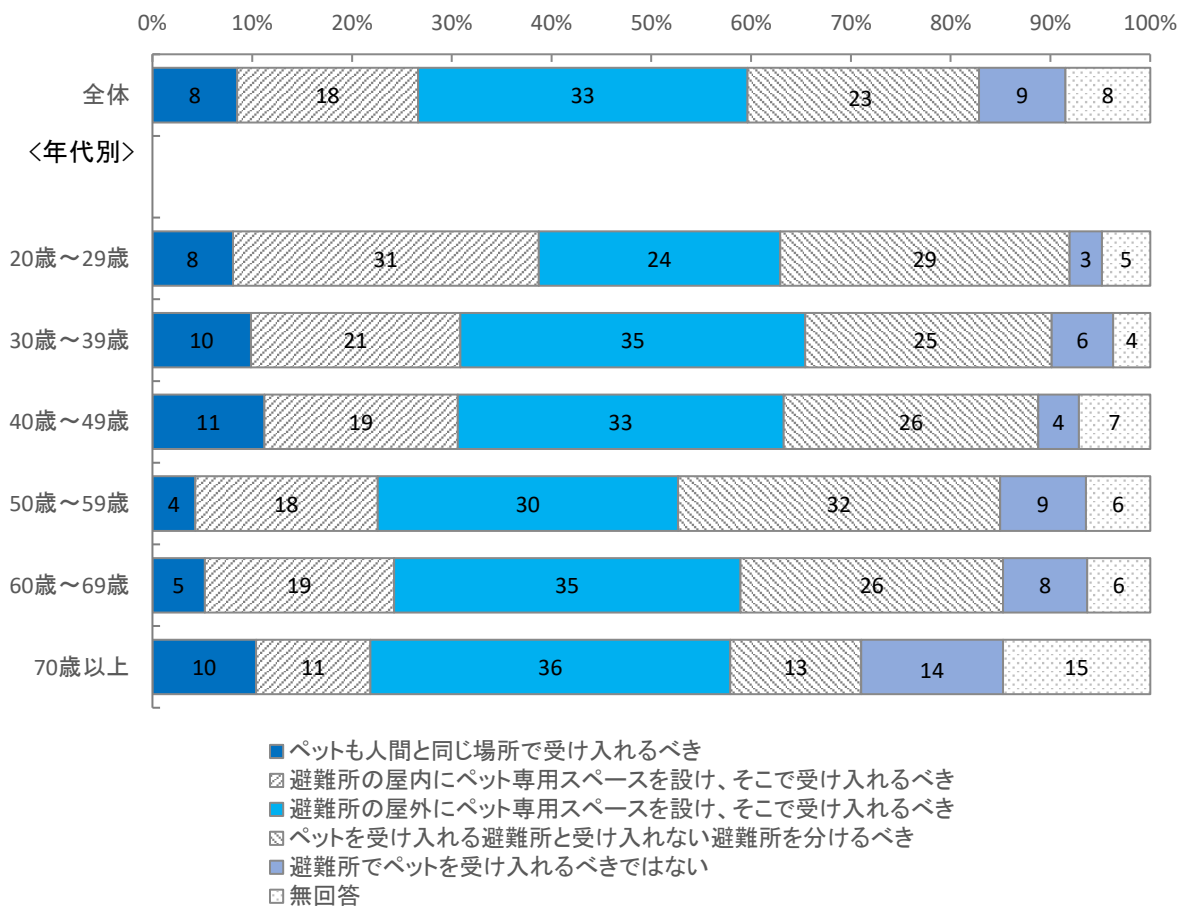
●各家庭のペットの防災対策充実を目指す

- ・ペットを飼っている方のうち、「ペット用の備蓄(水・餌・薬等)」、「予防接種や外部寄生虫の駆除」は30%を超えているものの、その他の防災対策も含め、防災対策を行っている割合は低い結果となりました。
- ・同行避難などの災害にかかるペットの具体的な取扱いなどについて、情報提供に努めます。

◆◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆◆

問11「災害時避難所」でのペット受け入れについて、あなたの考えに最も近い選択肢をお選びください。また、その他ペット受け入れについてご意見があれば、自由記述欄にご記入ください。

項目	回答数	比率(%)
1 ペットも人間と同じ場所で受け入れるべき	52	8
2 避難所の屋内にペット専用スペースを設け、そこで受け入れるべき	111	18
3 避難所の屋外にペット専用スペースを設け、そこで受け入れるべき	202	33
4 ペットを受け入れる避難所と受け入れない避難所を分けるべき	142	23
5 避難所でペットを受け入れるべきではない	53	9
無回答	52	8
回答者数	612	



●自由記述欄の主な意見

- ・飼い主と離れるとストレスで落ち着けないので、ペット専用ではなく、ペットと飼い主と一緒に過ごせるスペースを設ける。＜1を選択＞
- ・ペットの種類によって屋外か屋内か考えてほしい＜2を選択＞
- ・アレルギーを持っている方への配慮が必要＜3を選択＞
- ・同じ建物で別階とか近距離で分けられると良い。＜4を選択＞
- ・動物が苦手。人間の命が優先だと考えている。＜5を選択＞

●5割以上の方が同じ避難所でペットを受け入れるべきと考えている

- ・災害時避難所でのペットの受け入れについて、「ペットも人間と同じ場所で受け入れるべき」が8%、「避難所の屋内にペット専用スペースを設け、そこで受け入れるべき」が18%、「避難所の屋外にペット専用スペースを設け、そこで受け入れるべき」が33%、合わせて59%となりました。また、50歳代の「ペットを受け入れる避難所と受け入れない避難所を分けるべき」と回答した割合は全体よりも9%高い結果となりました。
- ・災害時避難所におけるペットの取扱いについて各地域で検討を進めるのに加え、ペットの引き受けを含めた後方支援を行っていただける災害時協力企業などを募り、円滑な避難所運営の実現に取り組みます。

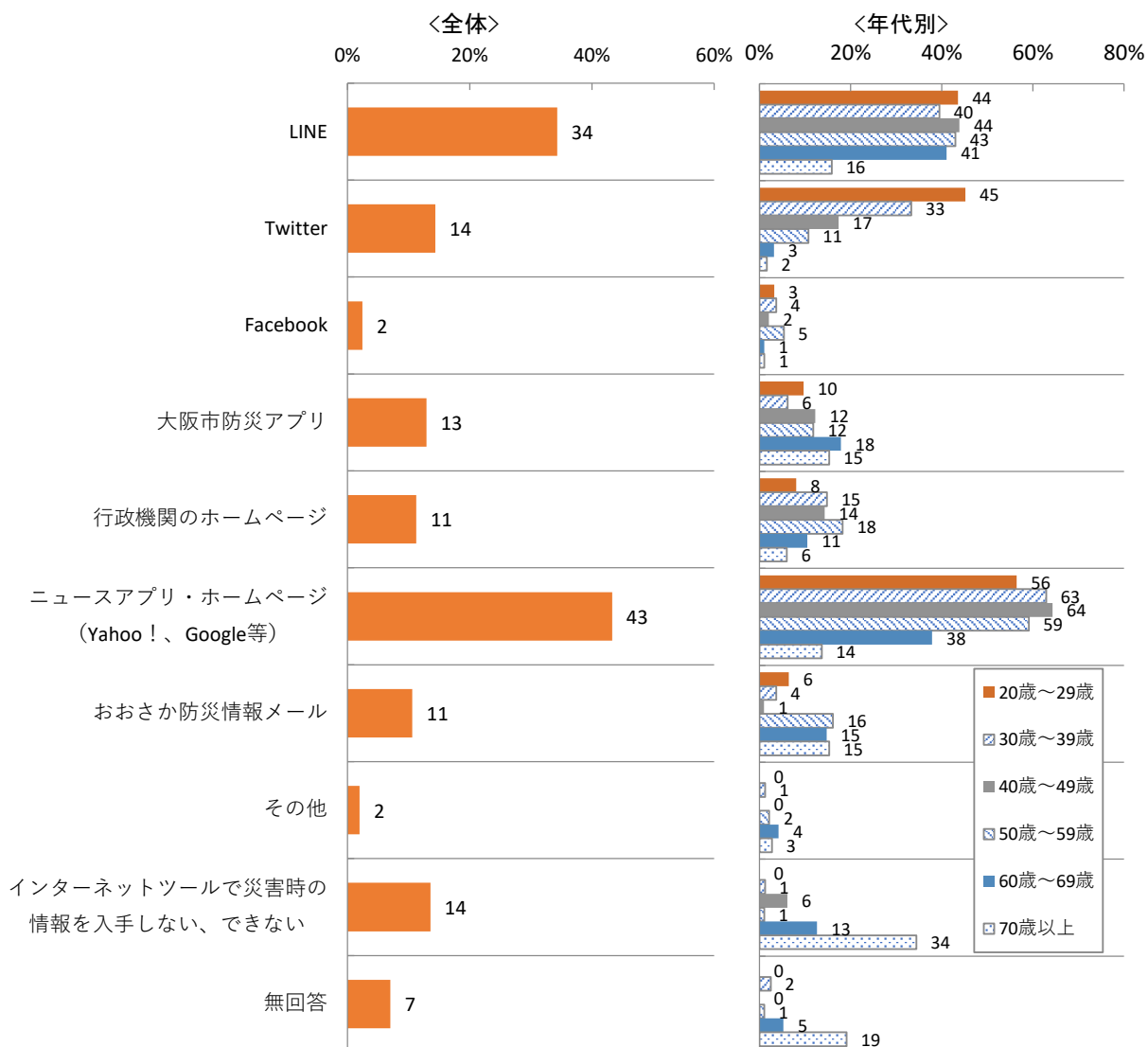
◆◆◆◆【防災について】◆◆◆◆

災害時において、正確かつ迅速に情報を入手することが重要です。
東成区役所では、ツイッターに加え、令和元年12月28日からLINE公式アカウント「ひがしなり防災情報」を活用し、平時は月1・2回程度、災害時には避難所開設情報などの防災に関する情報を発信しています。

問12 あなたはどのようなインターネットツールで災害時の情報を入手しますか？
【2つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 LINE	210	34
2 Twitter	88	14
3 Facebook	15	2
4 大阪市防災アプリ	79	13
5 行政機関のホームページ	69	11
6 ニュースアプリ・ホームページ(Yahoo!、Google等)	265	43
7 おおさか防災情報メール	65	11
8 その他	12	2
9 インターネットツールで災害時の情報を入手しない、できない	83	14
無回答	43	7
回答者数	612	

●その他の主な意見
・情報サイトの防災アプリ
・安まちメール



●各インターネットツールの利用者拡大を目指す

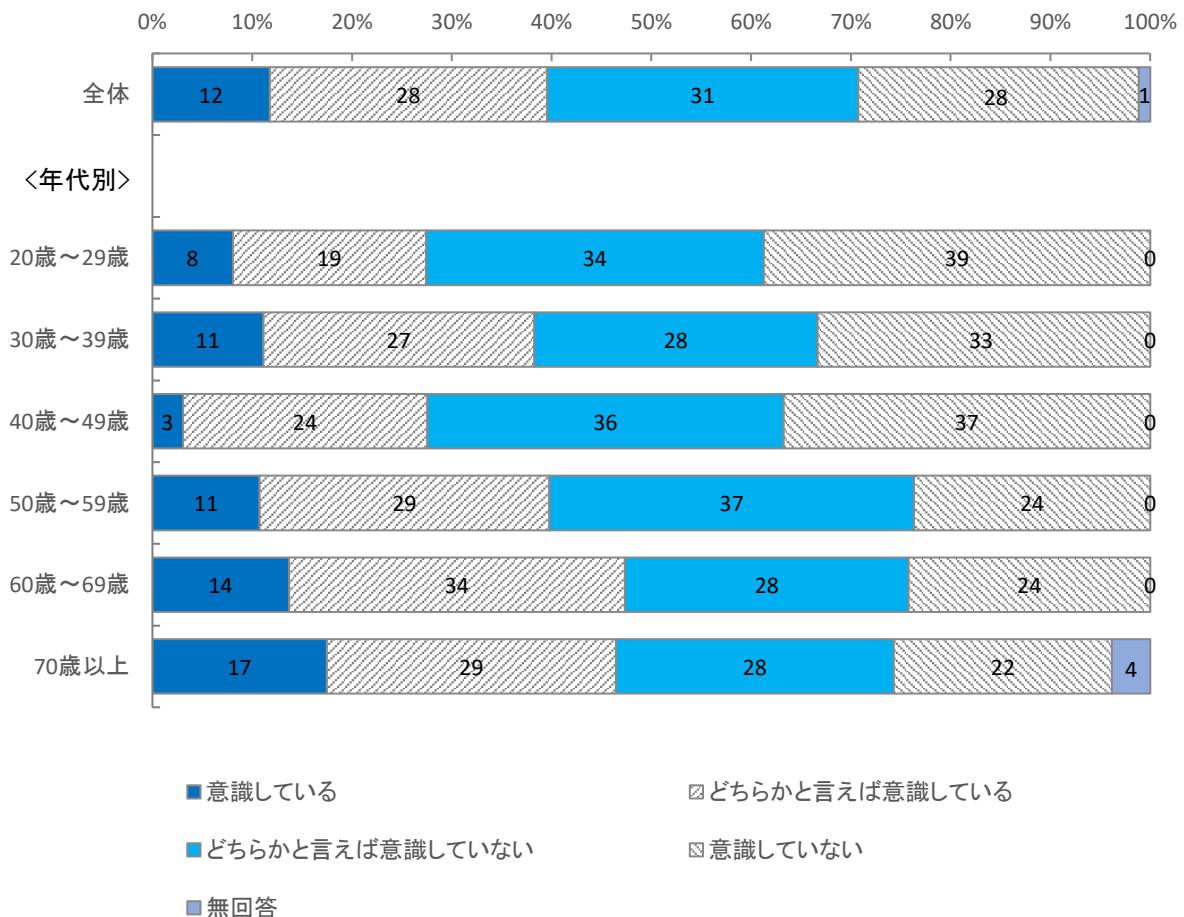
・インターネットツールでの災害時の情報の入手について、「ニュースアプリ・ホームページ」が43%と最も多く、「LINE」が34%と次いで高い結果となりました。
・「Twitter」で災害情報を入手している割合は年代が高くなるにつれて低くなっていますが、「LINE」の割合は70歳以上が他の全年代よりも25%程度低い結果となりました。
・災害時の迅速かつ多角的な情報入手を促進するため、各インターネットツールの周知を継続して行います。また、インターネットを利用されない方たちに向けて、防災マップや水害時ハザードマップ等を備えてもらえるよう呼びかけ、「LINE」の登録についても継続して働きかけていきます。

◆◆◆◆【環境教育について】◆◆◆◆

東成区では、森林環境譲与税を活用して、森林整備・木材の循環利用の必要性、森林の有する公益的機能、地球環境問題等を学習できる体験型イベントを実施しています。
※平成31年4月1日より「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が施行され、同法に基づく「森林環境譲与税の市町村への譲与」が開始されました。

問13 あなたは、日頃から森林環境保全について、意識していますか？

項目	回答数	比率(%)
1 意識している	72	12
2 どちらかと言えば意識している	170	28
3 どちらかと言えば意識していない	191	31
4 意識していない	172	28
無回答	7	1
回答者数	612	



●日頃から森林環境保全について意識されている方は4割

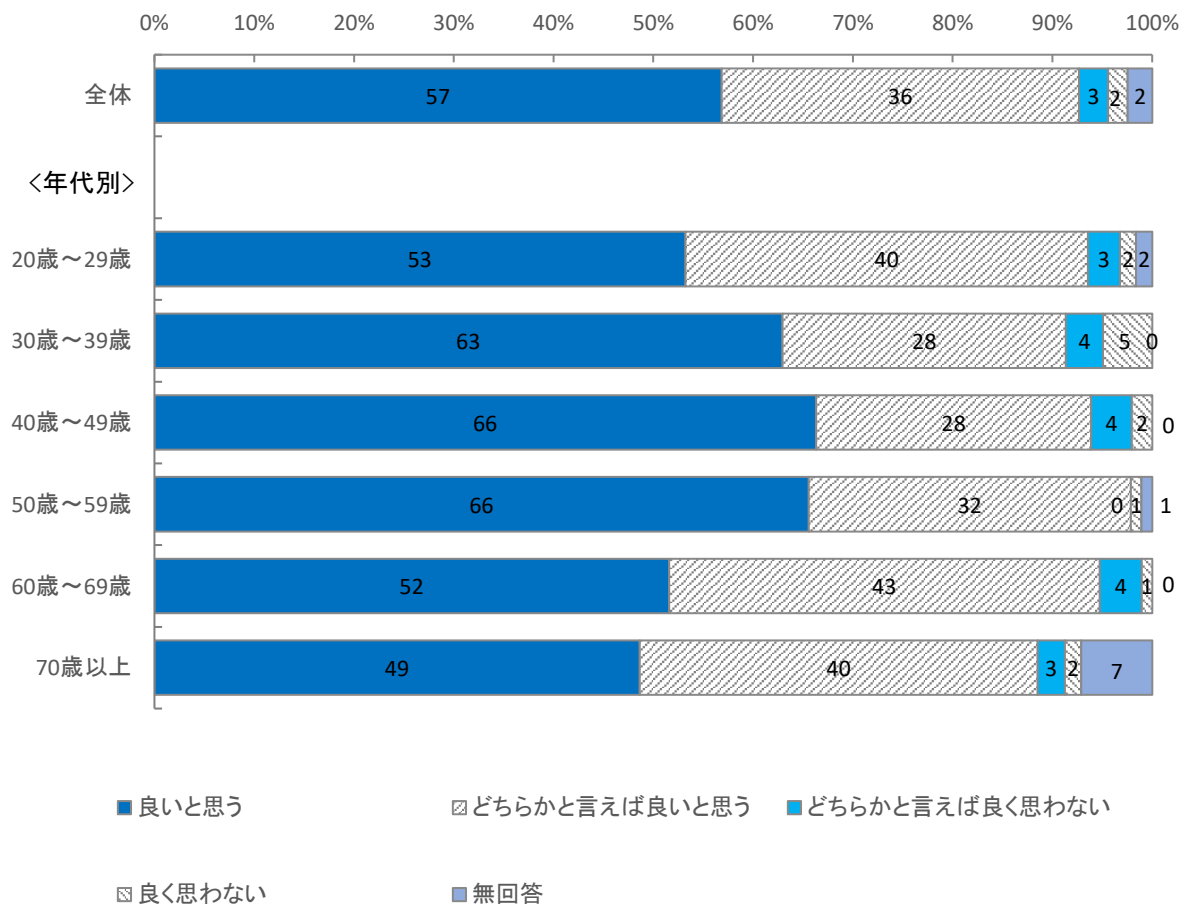
・日頃から森林環境保全について「意識している」が12%、「どちらかと言えば意識している」が28%、合わせて40%にとどまっています。

・東成区では、令和元年度より様々な角度から森林環境について考え、学習することができる体験型イベントを行っており、今後は、より一層理解促進につながるようイベント内容を充実させるとともに、広報紙や区ホームページ等を通じて、情報発信に努めます。

◆◆◆◆【環境教育について】◆◆◆◆

問14 東成区では、森林環境譲与税を活用して、森林整備や木材の循環利用などの理解促進につながるよう、様々な角度から森林環境について考え学習することができる体験型イベントを実施していますが、この取り組みについてどう思いますか？

項目	回答数	比率(%)
1 良いと思う	348	57
2 どちらかと言えば良いと思う	219	36
3 どちらかと言えば良く思わない	18	3
4 良く思わない	12	2
無回答	15	2
回答者数	612	



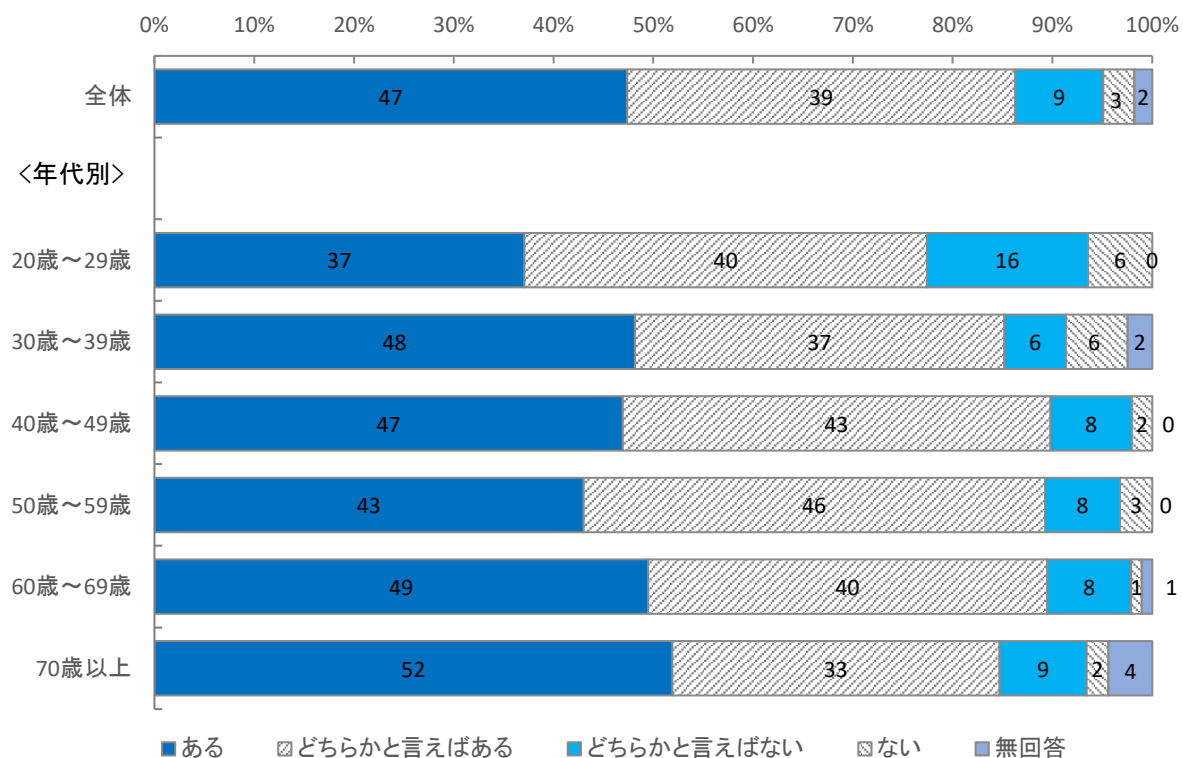
●9割以上の方が森林環境について考え学習することができる体験型イベントの実施について良いと考えている
 ・森林環境について考え学習することができる体験型イベントの実施について「良いと思う」が57%、「どちらかと言えば良いと思う」が36%、合わせて93%となりました。
 ・引き続き、森林整備や木材の循環利用などの理解促進につながるよう、様々な角度から森林環境について考え、学習することができる体験型イベントに取り組みます。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

東成区では、「健康寿命を延伸するため、区民が主体的、継続的に健康づくりに取り組める環境づくりを推進する」ことを目的に、①小中学校での食育講座、②特定健診受診率向上、③介護予防事業として「いきいき百歳体操」の普及啓発・継続支援などの取り組みを行っています。

問15 あなたは、健康づくりに興味がありますか？

項目	回答数	比率(%)
1 ある	290	47
2 どちらかと言えばある	238	39
3 どちらかと言えない	54	9
4 ない	19	3
無回答	11	2
回答者数		612



●理由（主な意見）

<「ある」、「どちらかと言えばある」と回答>

- ・健康に長生きしたいため。
- ・寝たきりになって家族に迷惑をかけるのを防ぐため。
- ・子どもが丈夫に育ってほしいため。

<「ない」、「どちらかと言えない」と回答>

- ・今、健康であり心配がないため。まだ気にする年齢でないため。
- ・仕事等で時間がないため。

●健康づくりに興味を持つ者の割合が86%

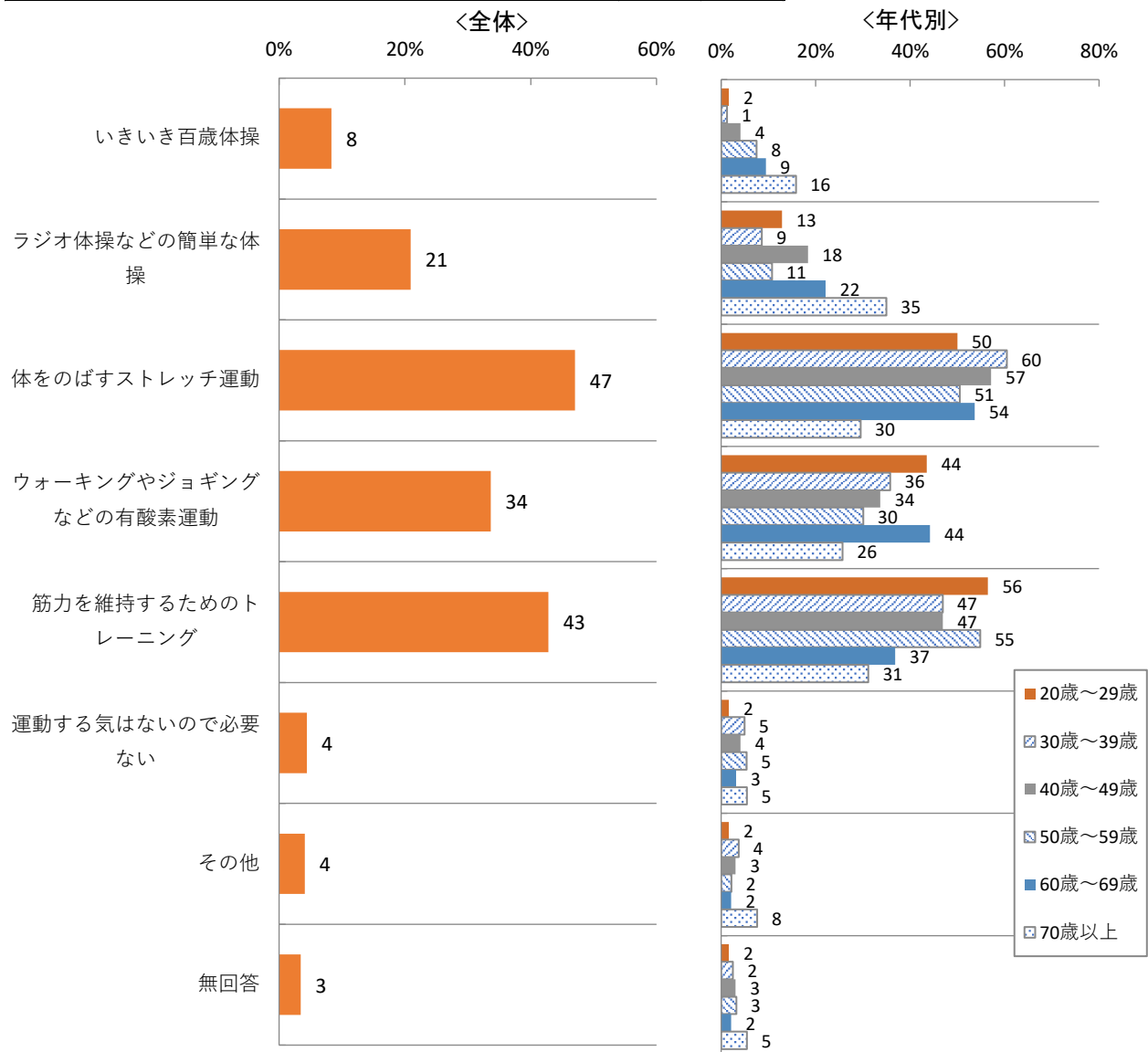
- ・各年代別では、20歳代～30歳代では80%前後、40歳代～60歳代では90%前後、70歳以上では80%以上の方が、健康づくりに興味を持っています。
- ・区民の健康づくりに対する関心は高いと考えられ、引き続き、区民が主体的、継続的に健康づくりに関心を持ち、生活習慣の改善や病気の予防、運動の実践等に取り組めるような啓発活動を実施します。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

問16 令和元年度の区民アンケートで、区民の方が健康づくりに関して興味を持つ内容を確認したところ「運動」と「栄養」への割合が多いという結果でした。「運動」に関して、どのような情報が知りたいと思いますか？
【2つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 いきいき百歳体操	51	8
2 ラジオ体操などの簡単な体操	128	21
3 体をのばすストレッチ運動	288	47
4 ウォーキングやジョギングなどの有酸素運動	206	34
5 筋力を維持するためのトレーニング	262	43
6 運動する気はないので必要ない	27	4
7 その他	25	4
無回答	21	3
回答者数	612	

- その他の主な意見
- ・個別のスポーツについて
 - ・テレビや本を参考にしている
 - ・病気のためできない



●「運動」に関して知りたい情報は「体をのばすストレッチ運動」が47%と「筋力を維持するためのトレーニング」が43%

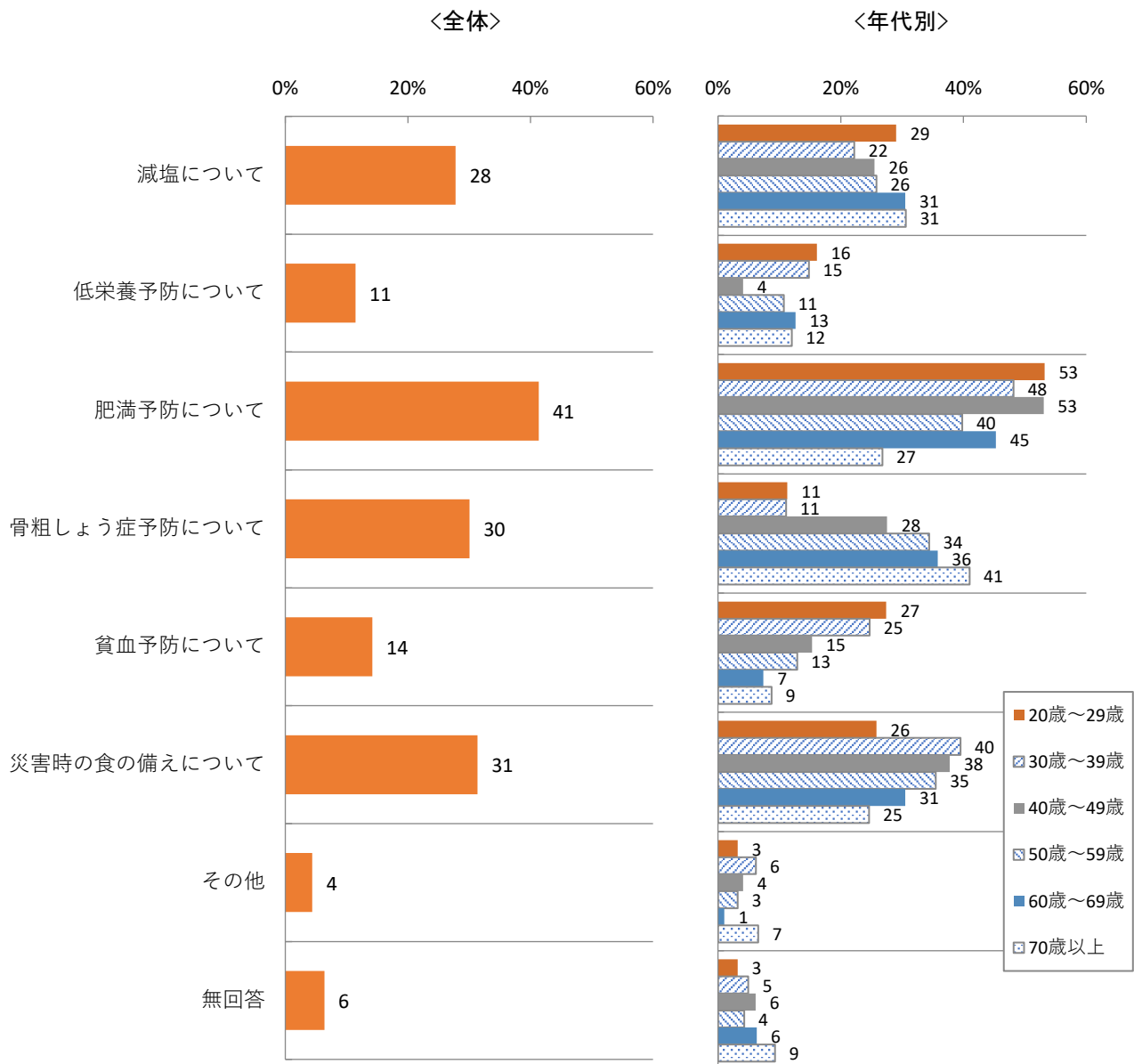
- ・20歳代～60歳代では、50～60%の方が「体をのばすストレッチ運動」の情報を知りたいと回答しました。
- ・20歳代～50歳代では、50%前後の方が「筋力を維持するためのトレーニング」の情報を知りたいと回答しました。
- ・70歳以上では「ラジオ体操などの簡単な体操」と回答した方が35%と最も多い結果となりました。
- ・約90%の人は運動の情報に関心を持っており、「運動する気はないので必要ない」「無回答」と回答した運動の情報への関心がない方は7%にとどまりました。
- ・引き続き、いきいき百歳体操の普及啓発を行いながら、家庭でも取り組める運動など、壮年期、高齢期に応じた情報の提供を地域での健康講座等を活用して取り組んでいきます。

◆◆◆◆【健康づくりについて】◆◆◆◆

問17 同じく「栄養」に関して、どのような情報が知りたいと思いますか？【2つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 減塩について	170	28
2 低栄養予防について	70	11
3 肥満予防について	253	41
4 骨粗しょう症予防について	184	30
5 貧血予防について	87	14
6 災害時の食の備えについて	192	31
7 その他	27	4
無回答	39	6
回答者数	612	

- その他の主な意見
- ・糖尿病について
 - ・コレステロールについて
 - ・興味がない



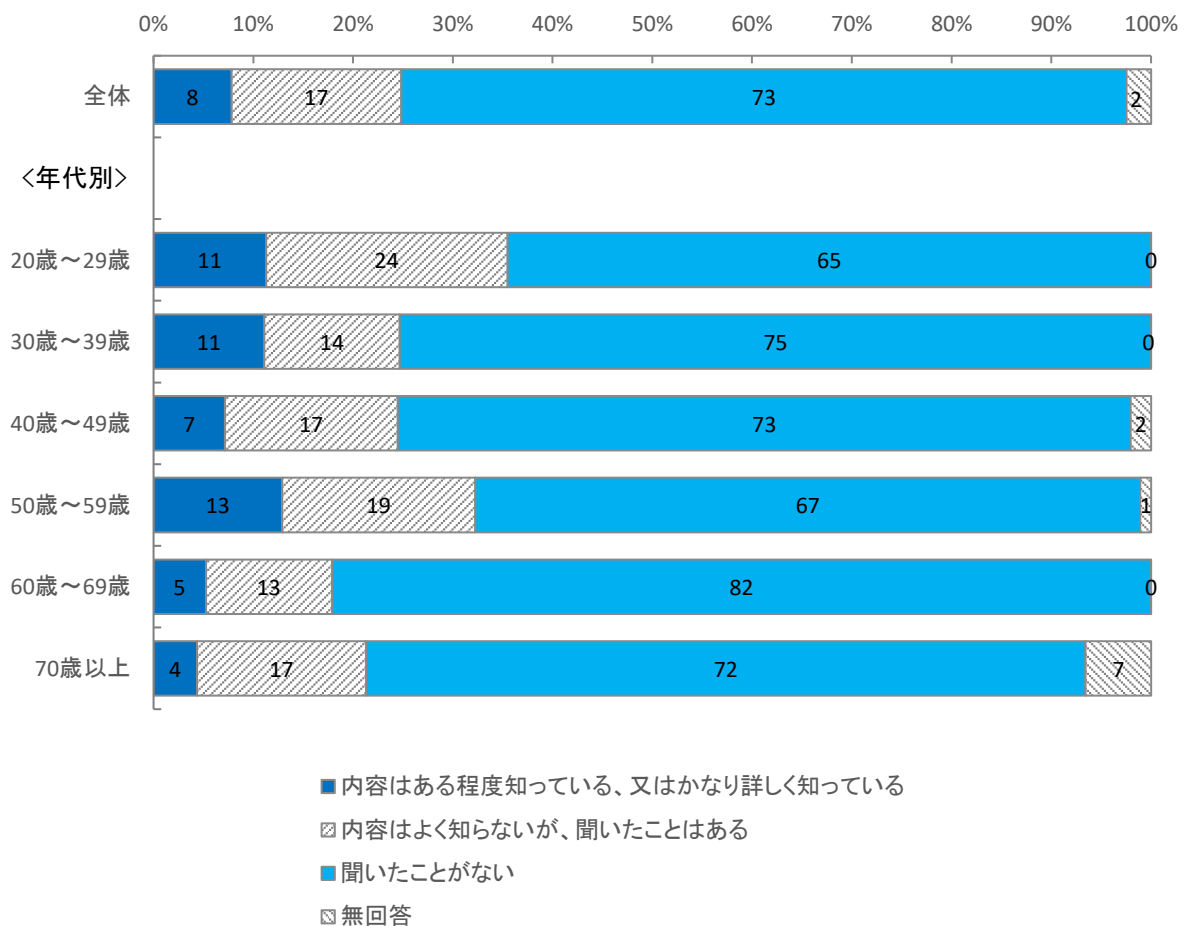
●「栄養」に関して知りたい情報は、「肥満予防について」の割合が41%

- ・20歳代～60歳代は「肥満予防について」と回答した方が40%から50%、70歳以上では「骨粗しょう症予防について」と回答した方が41%、「減塩について」と回答した方が31%となっています。
- ・地域での健康講座等を活用して、広く情報提供できるように取り組んでいきます。

◆◆◆◆【SDGs(エス・ディー・ジーズ)について】◆◆◆◆

問18 あなたはSDGs(エス・ディー・ジーズ、持続可能な開発目標)という言葉を知っていますか？

	項目	回答数	比率(%)
1	内容はある程度知っている、又はかなり詳しく知っている	48	8
2	内容はよく知らないが、聞いたことはある	104	17
3	聞いたことがない	445	73
	無回答	15	2
回答者数		612	



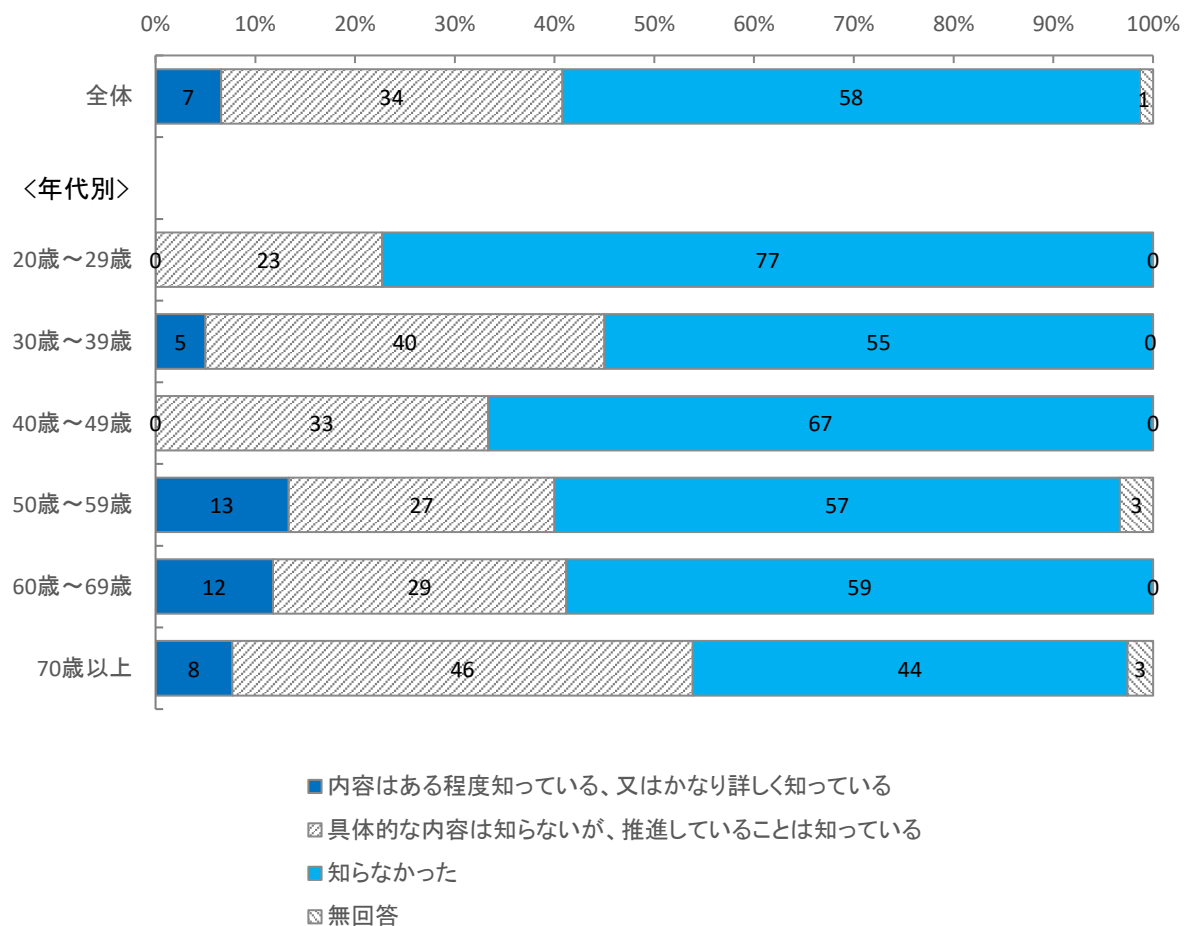
●SDGsの認知度は25%にとどまる

・SDGsという言葉を知っていることのある方の割合が最も高いのは、20歳代の35%であり、次に多いのは50歳代の32%でした。

◆◆◆◆【SDGs(エス・ディー・ジーズ)について】◆◆◆◆

問19 問18で「1 内容はある程度知っている、又はかなり詳しく知っている」および「2 内容はよく知らないが、聞いたことはある」と回答した方にお聞きします。
東成区は区政全般にわたりSDGsへの取り組みを推進していますが、あなたはそのことを知っていますか？

項目	回答数	比率(%)
1 内容はある程度知っている、又はかなり詳しく知っている	10	7
2 具体的な内容は知らないが、推進していることは知っている	52	34
3 知らなかった	88	58
無回答	2	1
回答者数	152	



●SDGsに関する東成区の取り組みの認知度は世代間でばらつきがある。

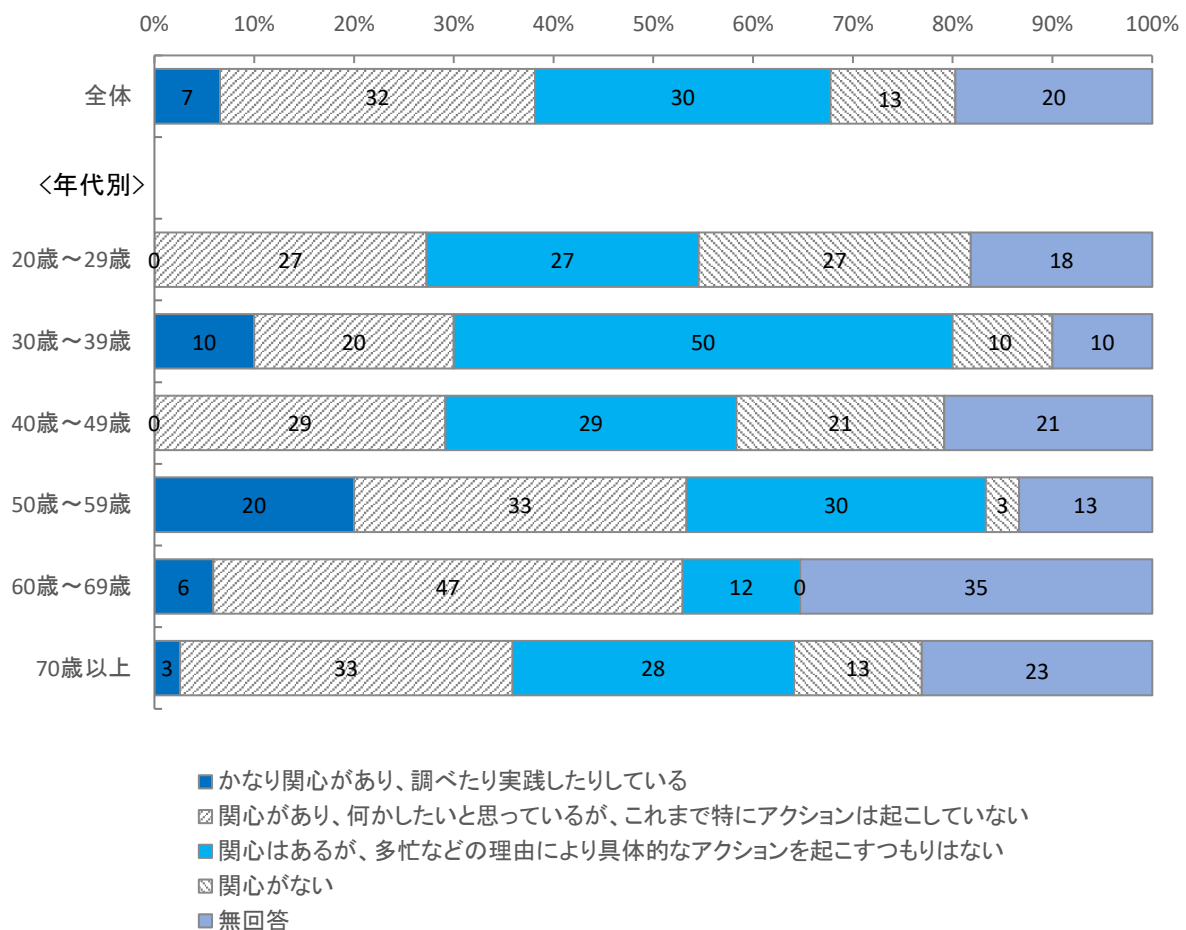
SDGsの認知度が低い60歳代(18%)、70歳代(21%)において、東成区の取り組みの認知度が比較的高い傾向にありました。

・SDGsの認知度が高い(35%)にも関わらず、区の取り組みが浸透していない20歳代にも興味をひくような広報をめざして、引き続き広報紙や区ホームページ等で発信していきます。

◆◆◆◆【SDGs(エス・ディー・ジーズ)について】◆◆◆◆

問20 問18で「1 内容はある程度知っている、又はかなり詳しく知っている」および「2 内容はよく知らないが、聞いたことはある」と回答した方にお聞きます。
あなた自身はSDGsに関心がありますか？

項目	回答数	比率(%)
1 かなり関心があり、調べたり実践したりしている	10	7
2 関心があり、何かしたいと思っているが、これまで特にアクションは起こしていない	48	32
3 関心はあるが、多忙などの理由により具体的なアクションを起こすつもりはない	45	30
4 関心がない	19	13
無回答	30	20
回答者数	152	



●7割の方が関心はあるが、実践までされる方は少ない

- ・20歳代においては、SDGsの認知度は比較的高いにも関わらず、「関心がない」と答えた割合が27%と最も高く、無関心層が目立ちます。
- ・30歳代においては、関心がある方の割合は比較的高いが、「多忙などの理由により具体的なアクションを起こすつもりはない」と答えた割合が全体の半数を占めている。
- ・50歳代においては、関心がある方の割合が最も高く、そのうち行動に移している方の割合も高い。
- ・「SDGsに関心があるが、多忙により取り組めない」と感じている方に対しても、SDGsに対するハードルが低くなるような意識付け、環境づくりを進めてまいります。

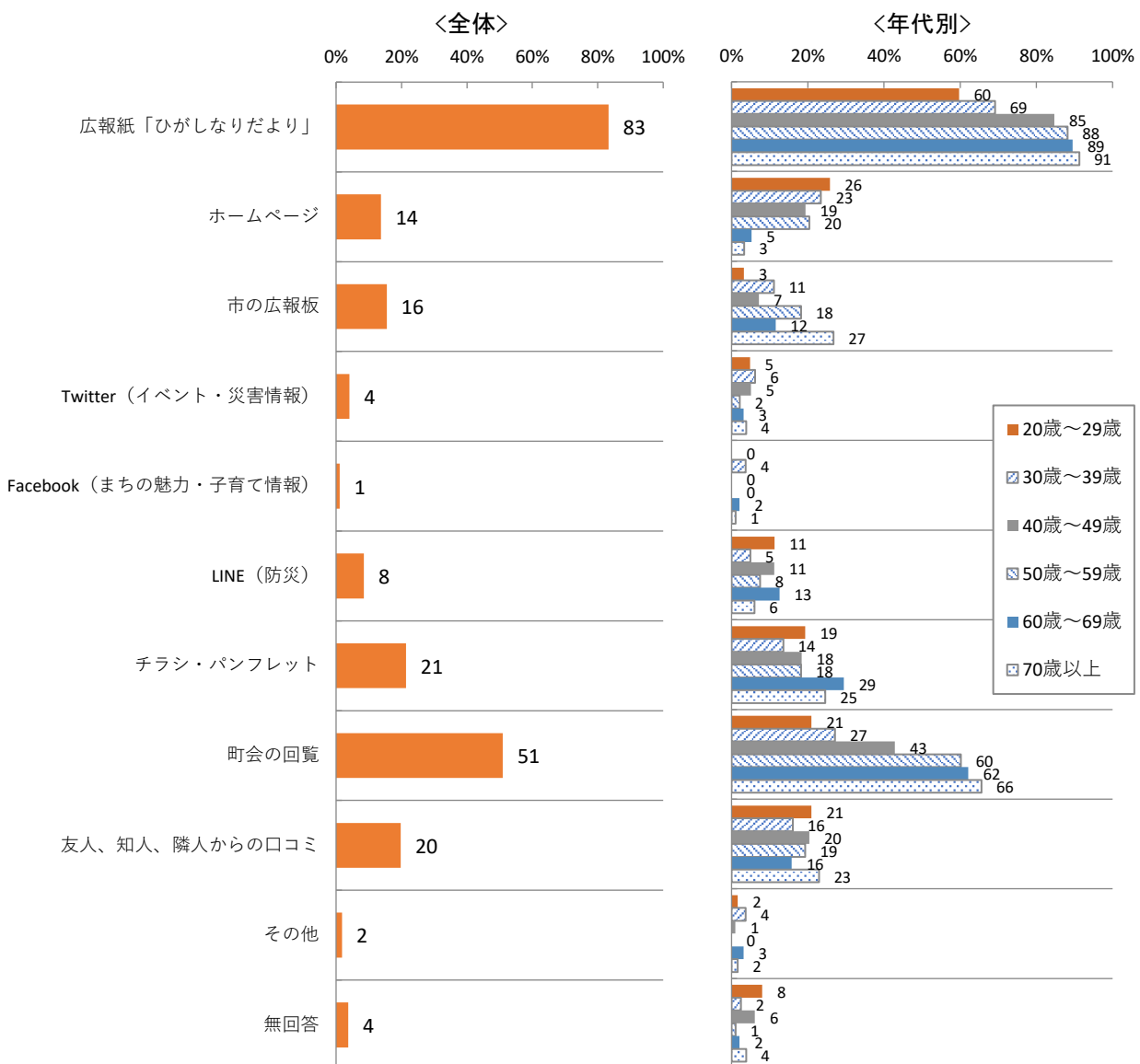
◆◆◆◆【広報について】◆◆◆◆

東成区では、区政に関する情報が区民全体に届けられるよう様々な広報媒体を活用し、わかりやすく魅力的な広報に努めています。

問21 東成区からの情報をどのような媒体から入手していますか？【6つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 広報紙「ひがしなりだより」	510	83
2 ホームページ	84	14
3 市の広報板	95	16
4 Twitter(イベント・災害情報)	25	4
5 Facebook(まちの魅力・子育て情報)	7	1
6 LINE(防災)	52	8
7 チラシ・パンフレット	131	21
8 町会の回覧	312	51
9 友人、知人、隣人からの口コミ	121	20
10 その他	11	2
無回答	23	4
回答者数	612	

●その他の主な意見
・ボランティア活動を通して
・ヘルパー、ケアマネジャーから

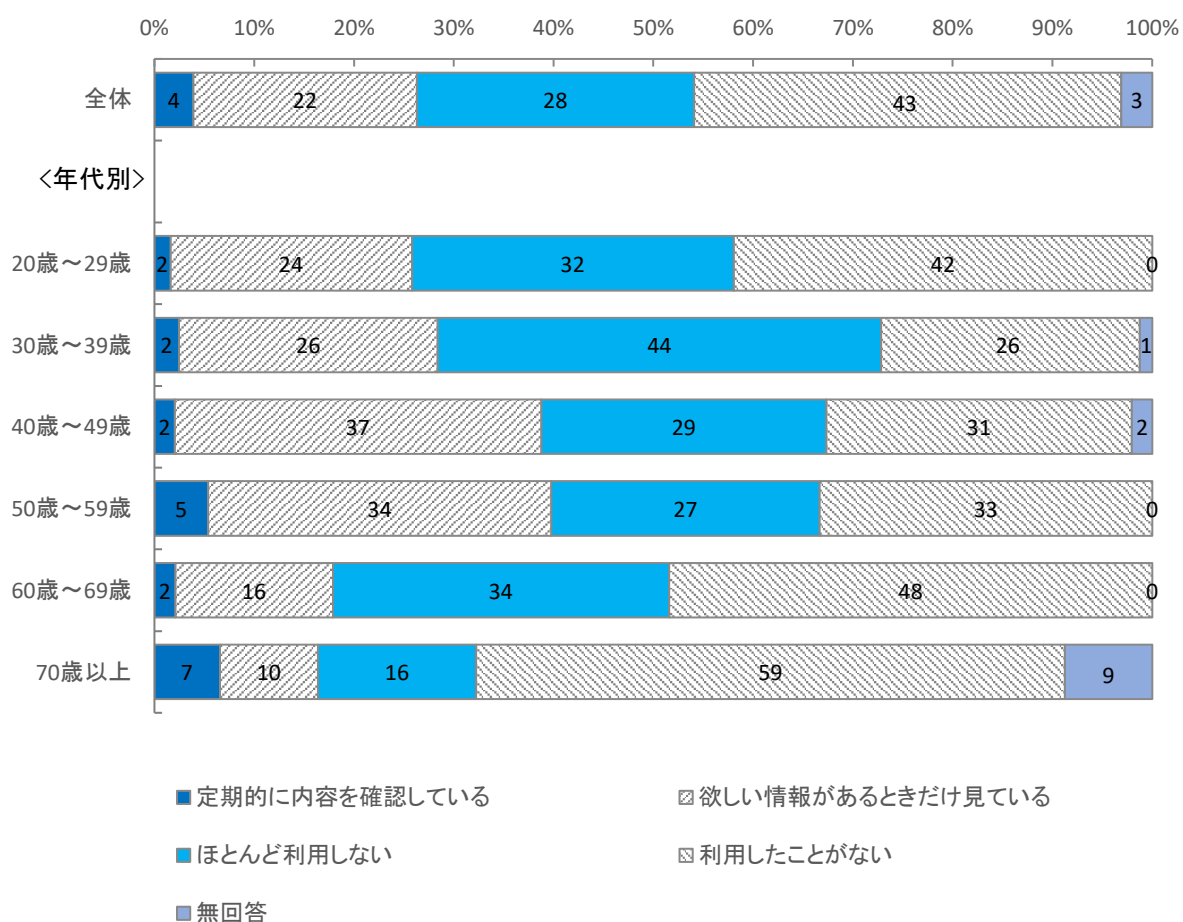


●情報を入手する媒体としては、**広報紙「ひがしなりだより」(83%)と町会の回覧(51%)が多い**
 ・広報紙のほか町会の回覧、チラシ・パンフレット等の紙媒体から情報を入手されている方が多く、Twitter(4%)、Facebook(1%)とSNSから情報を入手されている方は少ないです。
 ・今後も引き続き魅力ある広報紙作りに取り組むとともに、情報量が多く、リアルタイムな発信に優れた ホームページ等さまざまな媒体を通じての効果的な情報発信に努めます。

◆◆◆◆◆【広報について】◆◆◆◆◆

問22 東成区のホームページをどのくらいの頻度で利用していますか？

項目	回答数	比率(%)
1 定期的に内容を確認している	24	4
2 欲しい情報があるときだけ見ている	137	22
3 ほとんど利用しない	170	28
4 利用したことがない	262	43
無回答	19	3
回答者数		612



●定期・不定期を合わせた利用者は3割近く

- ・「利用したことがない」が43%と最も多く、「ほとんど利用しない」が28%と続きます。「欲しい情報があるときだけ見ている」(22%)と「定期的に内容を確認している」(4%)を合わせた利用率は26%でした。
- ・今後も引き続き、利用者にとって情報がみつきやすく、わかりやすいホームページの情報発信に努めます。

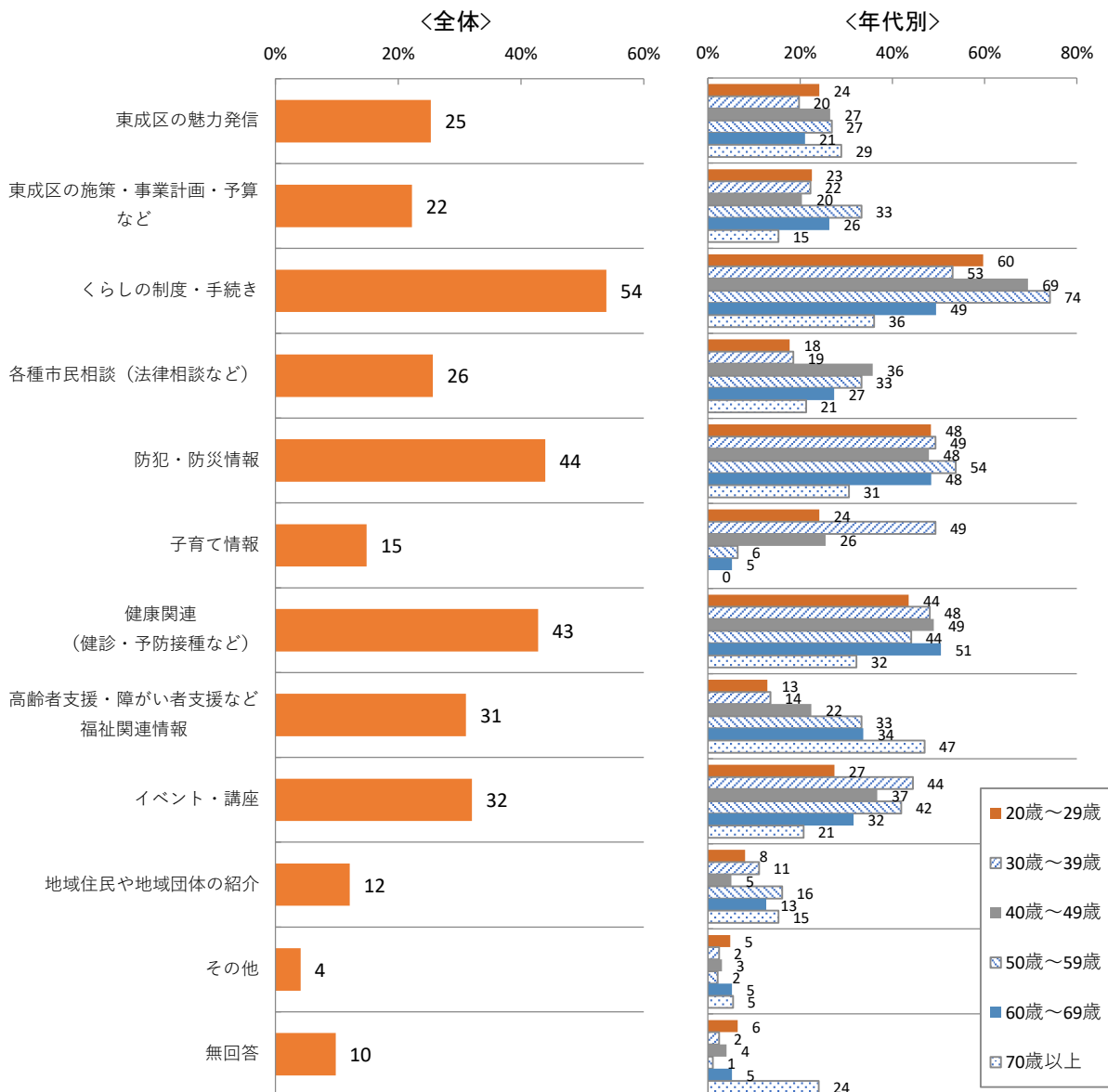
◆◆◆◆【広報について】◆◆◆◆

問23 ホームページやSNSでどのような内容を充実してほしいですか？【6つ以内で複数回答可】

項目	回答数	比率(%)
1 東成区の魅力発信	155	25
2 東成区の施策・事業計画・予算など	136	22
3 暮らしの制度・手続き	330	54
4 各種市民相談（法律相談など）	157	26
5 防犯・防災情報	269	44
6 子育て情報	91	15
7 健康関連（健診・予防接種など）	262	43
8 高齢者支援・障がい者支援など福祉関連情報	190	31
9 イベント・講座	196	32
10 地域住民や地域団体の紹介	74	12
11 その他	25	4
無回答	60	10
回答者数	612	

●その他の主な意見

- ・新型コロナウイルス情報
- ・自宅にインターネット環境がない



●暮らしの制度・手続き、防犯・防災情報、健康関連情報の充実が望まれている

- ・「暮らしの制度・手続き」が54%で最も多く、「防犯・防災情報」（44%）、「健康関連（健診・予防接種など）」（43%）と続きます。
- ・年代別に見ると、「暮らしの制度・手続き」は40歳代と50歳代で特に高い傾向です。また、「子育て情報」は30歳代、「高齢者支援・障がい者支援など福祉関連情報」は70歳以上で高い傾向です。
- ・今後も引き続き、情報量が多く、リアルタイムな発信に優れたホームページやSNS等さまざまな媒体を通じての効果的な情報発信に努めます。

自由意見欄のご意見等

※ご意見やご要望をわかりやすく掲載するために、一部抜粋や修正を行っています。

＜防災について＞

・防災について、何となく用意はしているものの、まだまだ足りていない事に気付きつつも、どこまで備えていればとりえず安心なのか分からないままでした。このアンケートでLINEの「ひがしなり防災情報」の登録をしたので、もう少し防災について考えたい、行動したいなと思っています。

・最近、雨の災害が多いので、これからも区民のために、色々対策をお願いします。平時は何とものないのはあたり前ですが、大きな災害があった時は、行政、国に頼らざるえない事が多いと思います。特に両親が身体障がい者1級と歩行が困難な方で、近所にもたくさんの高齢者がおられて、いざという時のためにがんばって下さい。

＜環境教育について＞

・「森林環境譲与税」など知らなかったことが多くありました。住みよい町づくりになるよう情報を発信してください。

＜健康づくりについて＞

・新型コロナ感染予防には、手洗いとせきエチケットを徹底するという情報の発信をお願いします。

・先日、子供の1歳6か月検診に行きました。密をさけるというだけでなく小さい子供がたくさんいるのももう少し時間を早く終わらせてほしかったです。2時間程かかってしまうと眠かったり、動きまわったりと大変です。1時間程を目安にしていたら嬉しいです。

＜SDGsについて＞

・10代、20代向けの地域のイベントがあれば興味がそそられると思います。SDGsの推進として、例えばどこかメイク会社とタイアップしたり等、楽しいイベントがあればそれをきっかけにSDGsを知れると思います。

＜広報について＞

・東成区の情報は「ひがしなりだより」や回覧等で知ることが多かったが、これからはホームページを見たりLINE等を活用していきます。

・最近特にホームページ・SNSで見て下さいとのことが多いですが、100%もっているわけではないので他の媒体でも見れるように考えて下さい。

掲載しているものの他にもたくさんのご意見等をいただいております。ご協力ありがとうございました。
いただきましたご意見等を参考にさせていただき、東成区政に活かしてまいります。

区民アンケートに関しまして、ご意見やご不明な点等がございましたら、
下記の連絡先までお問合せください。

【お問合せ先】東成区役所総務課（総合企画担当） TEL:06-6977-9683



東成区の情報はこちらでも発信してます！

LINE
(防災)



Twitter



facebook
(まちの魅力)



facebook
(子育て)

